

# 東京農業大学稲花小学校

学校だより【2022年7月27日】第133号



## 終業式

農大稲花小は7月21日(木)、無事に1学期の終業式を迎えました。朝の会ではまず、校内テレビによる終業式があり、校長からは、1学期にそれぞれががんばったこと、夏休みには自分を大切に過ごしてほしいことについて話がありました。自分を大切にすることは、まず、自分のからだを大切にすることです。健康に気を付けるとともに、自分のからだを他の人から守ることもあります。さらに、自分の考えや自分らしさを大切にすることについてもお話をしました。様々な子どもがいる農大稲花小では、自分を大切にすることが友だちを大切にすることにもつながると考えています。

また、終業式の日、農大稲花小の成績表「みのり」が担任教員から一人一人の児童に配られました。得意なところはさらに伸ばし自信をつけてほしいですし、苦手なところはゆっくりでもいいので取り組むことが大切です。そして何より、本校では各科目がきちんと習得されていることだけでなく、各科目に取り組む姿勢を重視しています。本校における「10の能力」を伸ばすことが、一生の間、学び続け、伸び続ける子どもになるために必要だと考えるからです。

ご家庭に持ち帰った子どもたちの成績表「みのり」を囲んで、まずは1学期の子どもたちのがんばりを大いに褒めていただきたいと思います。保護者の方々が褒めてくださることで、子どもたちはどんなに力づけられ、次への意欲を高めることでしょうか。

## 小菅村宿泊学習も無事に実施

4年生を対象とした小菅村宿泊学習も、1組が7月7日(木)から、2組が7月19日(火)から、それぞれ1泊2日で実施することができました。校長も2組の宿泊学習に参加し、子どもたちとともに源流体験や木工を経験してきました。

山梨県小菅村と東京農業大学とは長く「源流大学」のご縁があり、本校開校前からぜひ子どもたちの体験学習をしたいと考えていた場所です。新型コロナウイルス感染症がまん延する中、安全第一に計画を立てて取り組んだ宿泊学習でもあります。源流体験では安全をしっかりと確保していただいた中で、沢を上り、川の中のイワナを箱メガネで観察し、小さな滝つぼにダイビングするなど、子どもたちは勇気をもって冒険を楽しみました。合わせて、きれいな水を守る村の人々にも思いをはせたことでしょうか。また、木工体験では、まず小菅村の生活について説明をいただいたあと、かんなをかけ、焼き印を押したマイ箸づくり、そして、木を薄く切って作った木帯を組み合わせたオリジナルコースターづくりをしました。このような作業では、説明者の話をしっかりと聞き、集中力をもって手を動かす力も必要です。また、宿泊ですので、布団を敷いたり、自分の荷物を整えたり、正しいマナーで食事をする力も必要です。教室では見られない子どもたちのそれぞれの姿を見ることもできました。

お世話になったNPO法人多摩源流こすげの石坂様、山下様、株式会社源寺田様にも、あらためて御礼申し上げます。

NPO 法人多摩源流こすげ <https://npokosuge.jp/>

株式会社源 <http://kosugeminamoto.jp/>

## 東京農業大学第一高等学校中等部 学校説明会

7月21日(木)終業式後の夕方、東京農業大学第一高等学校中等部にお邪魔し、校長室からZoomでの学校説明会を開催させていただきました。4月から着任された幸田諭昭校長先生は、中高一貫校で多くの経験をお持ちです。広い視点から、中等部についてご紹介いただき、その魅力についてもお話しいただきました。

対象としたのは3年生の保護者の皆さまでしたが、1家庭で2デバイスで参加されたご家庭もあり、関心の高さがうかがわれました。進学の内容については別途ご説明させていただく予定ですが、質疑応答においては、進学後のクラス分けについて、在校中や卒業後の留学の可能性についてと、具体的な質問ばかりで、幸田校長先生、紙谷教頭先生に親切にお答えいただきました。

新校舎が建設中の第一高等学校・中等部です。たくさんのお子どもたちがともに学び、将来への夢の実現に向かうことを願っています。

東京農業大学第一高等学校・中等部 <https://www.nodai-1-h.ed.jp/>

## サギソウの姿 涼し気に

農大稲花小がある世田谷区の区の花は、サギソウです。日本に自生する野生ランであるサギソウは、白い鷺が飛ぶような美しい花を7月中旬ごろに咲かせます。

東京農業大学グリーンアカデミーでも講師と教鞭をとる高橋和彦先生は、サギソウの保護や栽培をされています。この度、農大稲花小のお子どもたちにもこのサギソウの姿、ということで、7月20日(水)から22日(金)の間、鉢植えをお届けくださいました。

図書室の前に飾られたサギソウの花は、本当に、白い鷺が飛んでいるようです。初めて見るという子どもたちも多いようで、短い展示期間でしたが、子どもたちの関心を集めていました。涼し気なその姿が見られたことに感謝しています。

東京農業大学グリーンアカデミー <https://www.nodai.ac.jp/greenacademy/>



サギソウ

## パッションフルーツ 熱帯の魅力を満喫

7月20日(木)、農大稲花小の1年生の子どもたちは、東京農業大学志和地弘信教授から、食育ミニ講座「パッションフルーツ」の授業をしていただきました。パッションフルーツは熱帯の果物で、その花の美しさ、そして、果実の独特な甘み、酸味、そして種を食べる感触を味わうものですが、多くの1年生は初めて見たのではないのでしょうか。一人ずつパッションフルーツを頂き、お家に持ち帰りました。表面に少し皺がよるまで待ってから、おいしく味わえたことと思います。

この度のパッションフルーツは、志和地先生のご紹介により、千葉県木更津市で栽培に取り組んでいる東京農大の校友(卒業生)JBKFarm 地曳様からご寄贈いただいたものです。熱帯果実ですが、千葉県産、それも千葉県産有機農産物の認定を受けているとお聞きしました。暑い夏、熱帯の果実に興味を持つ子どもが増えるといいですね。

JBK FARM <http://jbkfarm.com/>

## 楽しい夏休みを

農大稲花小では、長期休暇中の課題、いわゆる「宿題」を課すことはしておりません。長期休暇は、それぞれの子どもたちが苦手なところを克服する一方、得意なこと、興味のあることにはとことん取り組み、調べたり体験したりして伸ばしていく期間、また家庭で、あるいは家族・親せきや友人と楽しく過ごし心身を休めたり鍛えたりする期間となることを期待しています。とはいえ、毎日、家族とともに規則正しく健康的に生活するとともに、一定の時間は机の前に座り、自ら、あるいは、保護者とともにたてた計画に従って勉強をする習慣を保つことは当然です。保護者の支援の下、子どもが自分自身を伸ばし、大きく成長して2学期を迎えることを願っています。

1学期の間、保護者の皆様には、農大稲花小の方針を十分に理解し、学校と一体となって子どもを育てるためにご協力いただきましたことに、感謝します。とくに、新型コロナウイルス感染防止の措置については、皆さまのご協力は不可欠でした。どうぞ、ご家族そろって、楽しい夏休みをお過ごしください。

校長 夏秋 啓子